

基本方針

総合的に地球温暖化対策に取り組みます

基本目標1

省エネルギーの推進

基本目標2

地域の特色を活かした  
再生可能エネルギーの普及促進

基本目標3

災害に強く環境にやさしい  
エネルギーの分散化

基本目標4

気候変動に適応した  
対策の推進

令和元年度 指標の進捗状況

◎…達成(R4目標年度) ○…達成見込み  
△…要調整 ×…達成困難 -…中止

目標	No.	指標	基準値 (H26)	最終目標 (R4)	令和元年度		備考 (増減要因、評価理由など)
					現状値	達成 状況	
基本目標1 省エネルギーの推進	1	省エネルギーに取り組む市民の割合	57.8% (H30)	62.4%	49.9% (参考値)	△	【参考値について】 H30年度(基準年度)の市民意識調査と比較し、令和元年度は、イベント来場者を対象にアンケート調査を実施したため、年代、世帯構成等など、対象に大きな差異があることから、参考値としている。
	2	自転車走行空間整備延長	115.5km	259.7km	206.9km	○	【評価理由】 自転車走行空間ネットワーク整備計画に基づき整備が順調に進んでいるとともに、約53kmの整備が残り3年間で計画されているため、目標達成見込みとしている。
	3	一人1日当たりのごみ総排出量	974g/人日	856g/人日	940g/人日	△	【増加要因】 ・民間の一般廃棄物リサイクル施設の故障に伴う本市清掃工場への搬入量の増加 ・台風による災害ごみの増加 等
基本目標2 地域の特色を活かした再生可能エネルギーの普及促進	4	再生可能エネルギーの導入割合 (H25年度電気使用量比)	21.5%	23.6% 24.4%	23.8%	○	【算定方法の変更及びR4目標値の上方修正】 ・令和元年11月から順次、固定価格買取制度が満了することに伴い、従来の手法での算定が困難となったため「固定価格買取制度 情報公開用ウェブサイト」で公表されている太陽光発電の新規認定及び移行認定された導入量を用いて算定している。 ・R4目標値をR1に達成したため、再生可能エネルギー導入割合に係る直近3年の伸び率を基に、上方修正している。
	5	地域おこしを軸とした導入の推進	—	3箇所以上	2箇所	○	【評価理由】 現在、新たに1か所導入に向けて取組を進めているため、目標達成見込みとしている。
基本目標3 災害に強く環境にやさしいエネルギーの分散化	6	分散型エネルギーを確保した住宅の割合	18.3% (H30)	20.0%	31.8% (参考値)	○	【参考値について】 H30年度(基準年度)の市民意識調査と比較し、令和元年度は、イベント来場者を対象にアンケート調査を実施したため、年代、世帯構成等など、対象に大きな差異があることから、参考値としている。
	7	水素ステーションの建設	0箇所	1箇所	1箇所	◎	【評価理由】 既にR4年度目標を達成しているため。
	8	次世代自動車(EV、PHV、FCV)普及台数	805台	2,130台	1,743台	○	【評価理由】 現在、年間200台程度増加していることから、残り3年で約600台の増加を予想し、目標達成見込みとしている。
基本目標4 気候変動に適応した対策の推進	9	気候変動に対応するための体制整備	—	整備	適応策 アクション プラン策定	○	【評価理由】 概ね計画通り進んでおり、目標達成見込みとしている。なお、今後は、アクションプランで掲げる(仮称)静岡市適応策推進会議の設置に向け、関係機関との調整を行っていく予定
	10	森林整備面積	26,430ha	28,930ha 31,593ha	29,463ha	○	【R4目標値の上方修正】 ・当初設定したR4目標値をR1に達成したため、今後の森林整備計画等を基に、上方修正している。
	11	市民一人当たりの都市公園面積	6.09㎡/人	8.0㎡/人	6.58㎡/人	○	【評価理由】 令和4年度に麻機遊水池第1工区を14.41ha整備予定のため、目標達成見込みとしている。